れんごう 愛媛

JTUC-EHIME

ゆとり豊かさ社会的公正
生活者重視社会の実現

連合愛媛HP

No 387 2026.11.10

平成2年5月10日　第三種郵便物認可
定価／1部50円（組合員の購買料は会費に含む）
定日／毎月1回10日発行

日本労働組合総連合会
愛媛県連合会（連合愛媛）

〒790-0066
松山市宮田町132-1 四国ろうきん松山ビル4F
TEL 089-941-0500
FAX 089-947-8010

発行人 上　甲　章　史
編集人 三　好　謙一郎

令和８年熊本地震に対する緊急カンパを実施

連合は、「令和８年熊本地震」の発災における甚大な被災状況を踏まえ、緊急カンパに取り組むこととしました。これを受け連合愛媛では、８月 18 日より連合愛媛の各種会議や、各地協支部においての街頭募金活動により義援金を募り、取り組んだ結果、9月末集約として合計 220,445 円が集まりました。

この募金は連合本部を通じて、被災地に義援金として送られます。ご協力に心より感謝いたします。









2026年度 連合四国ブロック
青年委員会情報交流会



10 月 17 日（土）2026 年度連合四国ブロック「青年委員会情報交流会」が開催され、連合愛媛から青年委員会役員と事務局の５名が参加しました。

今回の交流会は四国ブロックの青年委員会メンバーが中心となり、内容を企画したもので、開会あいさつでは連合高知西本青年委員長がこれまでの経過等を含めあいさつをしました。続いて連合四国ブロック代表して、連合高知市川事務局長から四国ブロック青年委員会を中心とした若年層の活性化などを強調し、コミュニケーションを図ることの重要性等について訴えました。

17 日（土）のグループワークでは、①青年組合員が抱えている課題 ②働きやすい職場とは？ ③なぜ若手が組合活動に参加しないか？――などについて意見交換が行われ、特徴的な課題や今後の青年活動につながるアイディアを中心に各グループから発表があり、全体に共有化されました。

18 日（日）には、３人１チームで各県がチームを作り、合計 12 チームによる「モルック」大会が開催されました。一投毎に歓声が起こる中、連合愛媛は２チームを作り競技に臨んだ結果、愛媛Ａチームが１位、愛媛Ｂチームが２位の成績を収め、大盛況のもと競技を終了しました。

最後に今後も四国の青年委員会による「情報交流会」を開催していくことを確認し、２日間のカリキュラムを終了しました。



安全衛生に関する工場見学会



連合愛媛の安全衛生活動として、様々な企業の取り組みを学び、組織の安全衛生活動へ反映させることを目的に安全衛生推進委員会主催の工場見学会を開催し、構成組織から 17 名が参加しました。

愛媛製紙株式会社様に受け入れのご協力をいただき、工場の概要説明、安全衛生活動紹介、工場見学を行いました。

安全衛生活動の紹介では、「高めよう一人ひとりの安全意識　その時その場で危険予知　みんなで目指そう０災害」を年間のスローガンに、過去の災害発生状況を月別や時間帯別の分析をもとに対策が検討されており、リスクアセスメント活動の紹介では実際のシートを使って説明を受けました。

工場見学ではティッシュペーパー（エルモア）の原紙製造マシンとバイオマスボイラーを見学しました。工場内には回転体が多く、挟まれ巻き込まれ災害が起きると重篤な災害になるため、安全意識の高い対策を各所で見ることができました。

意見交換では、工場内の粉塵（紙粉）対策や防災（地震）対策等について意見交換を行い、安全衛生に対する新たな気づきを得ることができました。

今回の工場見学を通じて、学んだこと、感じたことを各職場に持ち帰り、組織内の安全衛生活動の強化に活かしていきたいと思います。









連合四国ブロック
組織拡大オルガナイザー研修

連合四国ブロック組織拡大オルガナイザー研修がホテルアイスル松山で開催され、連合愛媛から５名が参加しました。

連合本部の報告では、「連合組織拡大プラン 2030」に対しての取り組み状況や、今後の課題やターゲットについて大磯中央オルガナイザーから説明を受けました。

続いて、石井四国オルガナイザーと四国ブロックでの今後の取組みプラン等について意見交換がされ、各県で連携していくことが確認されました。

連合愛媛の取り組み報告では、今年の企業訪問の実績と出てきた課題についての説明、数年ぶりに作成・放映したテレビＣＭ等について報告し、情報共有をはかりました。

